仙南９条の会 情報紙

第５号　2020年11月10日

声

仙南９条の会　連絡会

代　表：　鈴木　昭一

連絡先：　担当　丸山　勝寿

TEL　：　080-8203-7417

『もう戦争はしない』国民は平和憲法を大歓迎

昭和天皇は 1946年（S21）11月３日　新しい憲法を公布・発表した。国民の祝日「文化の日」である。戦争に苦しめられた国民は戦争放棄の憲法を圧倒的に歓迎し、日本全国はお祭りのような祝賀行事に湧いた。当時の政府は、もっぱら天皇の扱い（戦犯にしない。天皇制の存続）だけを考え、国民のことは考えていなかった。日本の**古い勢力は**、ポツダム宣言の意味することを理解していなかった。明治憲法を部分的に手直しすることで済むと考えていた。

マッカーサー（GHQ）は明治憲法の書き直しではダメとして憲法に関わる三原則を提示し、日本政府に憲法案の作成を促していたが、政府案が毎日新聞にすっぱ抜かれた。内容が旧態然としており政府に任せておけないと判断した。

GHQは法律の専門家を中心に、憲法**草案**を作成・提案した（その際、日本の平和と人権に関する学者・研究者の見解に注目してその意見を取り入れた）

提案を受け、国会で『平和国家建設に熱い議論』

この憲法の草案は国会に設置された「帝国憲法改正委員会」で与野党の委員の審議に付された。この中で鈴木義男衆議院議員（宮城県・東北大学・弁護士出身）は、この審議で平和国家建設の重要性を終始リードした。

ここで歴史を少しふり返ってみよう！
昭和の歴史は戦争の歴史

＊戦争は柳条湖事件（1931年）・盧溝橋事件1937年から始まった。中国との戦争、ハワイ真珠湾攻撃で日米開戦**1941年**12月８日で**太平洋戦争へと拡大、そして敗戦まで15年間。「15年戦争」とも呼ばれる。**

＊1945年８月15日　無条件降伏（謂わばギブアップ・もっと早ければ原爆も日本全国の大空襲も避けられただろう。沖縄戦の前に講和することや、戦争をしなければ300万人の命を失わなかった）

＊同年９月２日　戦艦ミズリー甲板で降伏文書に調印（正式な敗戦）アメリカは復興に力を入れつつも政府を巻き込み安保条約締結、属国化する。

南北朝鮮戦争キッカケ
平和憲法を敵視・形骸化

しかし、朝鮮戦争が勃発すると憲法を巡る情勢は改憲へ改憲へと急転回。自民党は改憲へむけ既成事実を作り、かつ近隣との緊張関係を強め、日米安保で米国に従属。

官邸は陰謀集団化

安保法制や自衛隊の海外派遣、敵基地への先制攻撃の研究、『日本学術会議』への選別支配など。憲法違反!!独裁者目線で！

今は戦後か？　新たな戦前か？

よく考えてみよう！20201020　Yokouchi

《生まれてはじめての自由》　作家　高見順

自国の政府により当然国民に與られるべきであった自由が與られずに、自国を占領した他国の軍隊によって初めて自由が與られるとは、かえりみて羞恥の感なきを得ない。日本を愛するものとして日本のために恥ずかしい。戦に負け、占領軍が入ってきたので、自由が束縛されたというなら分かるが、逆に自由を保障されたのである。なんと恥ずかしいことだろう。自国の政府が自国民の自由を、ほとんどあらゆる自由を剥奪していて、そうして占領軍の通達があるまで、その剥奪を解こうとしなかったとは、なんという恥ずかしいことだろう。

1945年9月30日「敗戦日記」より

安倍・菅政権、階級社会の形成と警察公安国家に踏み込む

1、包摂型社会から排除型社会へ

社会の変化の兆しが一番弱い層に表れている。

以前は弱者も貧者も抱え込む「包摂型社会」だったのが、今は「排除型社会」になりつつある。

コロナ禍で日本は他の国と違って、政府が権力を行使する前に人々が自粛してしまう、いわゆる自粛警察というもの、昔から変わらない。非常に薄気味悪い。社会が主体となって弱者を排除していくようになった。メディアが同調圧力を煽る面もあるが、むしろ国民の間でファシズムが常態化している。政府に異論を言う、逆らう者は白眼視される。

2、階級社会と警察公安国家

早稲田大学の橋本健二教授が、10%しか占めない層（現政権で成功している人、富裕層など）が①自己責任論②憲法を改正して軍隊をもつべき③沖縄に米軍基地が集中するのはやむ得ない④福祉には否定的⑤戦争はやむ得ない⑥経済に対する政府の規制はできるだけ少ないほうが良い⑦韓国・中国を排除⑧安倍晋三に親和性を持つとの興味深い調査結果を出した。この層の考えが安倍・菅政権の政策そのものとなっている。と結論付け、「階級社会」が形成されつつある。と言うのだ。

菅首相は「自助」を前面に押し出してきた。

竹中平蔵と高橋洋一が経済政策のブレーンだということは「喜ぶのは企業、苦しむのは国民」と言っていい。辺見庸は言う「菅は公安顔、特高顔で、冷たく容赦ない表情、で執念深い、今まで踏み越えなかったところを踏み越える気がする」と。官邸に杉田副官房長官、北村国家安全局長、和泉首相補佐官が再任、警察公安国家への道に更に踏み込んだ。

3、自民党政治との決別と平和憲法の国づくり

1910年（明治43年）8月に書かれた石川啄木の「時代閉塞の現状」を再読した。

日露戦争勝利の高揚感から一変、大逆事件で社会主義運動の芽が摘み取られ、第一次世界大戦、日中戦争などの戦争前夜、虚脱・無力感が青年たちを覆っていた。啄木は「明日への考察」、つまり「時代閉塞の現状」を打破する未来への理想を掲げよと言っている。そして現実的なプランをつくれと。「炭鉱のカナリヤ」のごとく、今を危機的状況「戦争前夜」と捉え、米国の捨て駒として戦争へと突き進む自民党政治（安倍・菅政権）との決別、9条そして平和憲法を国是とした本格的な国づくりを急がなければならない。（白石憲法9条を守る会　丸山勝寿）

≪みんなの声≫

怒りの声、嘆きの声、つぶやき、小さな声でも、声、声となって・・・

菅首相の学術会議任命拒否は学問の自由を侵す憲法違反です。しかも何の説明もなく、安保法制等政府に批判的な学者を狙い撃ちにしたものです。研究者をも戦争に利用した戦前 ― 。憲法九条・平和を守る私たちは、安倍前首相をも越えるこの暴挙を許すことはできません。（大河原　70代男）

もう、うんざり!!

安倍政治をそのまま継続?!
いいえ、さらにひどい菅義偉内閣スタートしました。
ウソと隠ぺい・ごまかしと口先だけな姿はもうたくさん!
まるで戦時中のような"独裁政"重なってきます。
わたしたち国民の心に寄り添える本当の政治家はどこに――?

（60代・女性）

日本学術会議から推薦された6名を菅首相が任命拒否した。これは戦前の「滝川事件」を想起させる出来事である。これを許すと次は、国民の言論の自由が奪われることは歴史が証明している。絶対反対!!

大河原・加藤

こんな社会がつづいていくの？

悲惨な戦争による数知れぬ苦しみと犠牲、その反省のもとにつくられた「日本国憲法」が今、いろいろな分野で踏みにじられてきていることを感じています。自衛隊がアメリカ軍と合同訓練し、アメリカ軍と一緒に海外で戦争に参加するようなんてとんでもないことだと思います。コロナ禍の中で、私達の命や暮らしの問題は、一層深刻になってきています。しかし憲法理念は「自助、共助、公助」と強要、一体政治はどこにあるのでしょうか？

大河原 80代 女性

逆潮も櫂を手に漕ぎゆかむ
つひには見るべ
のりの美国を

柴田町 義明

(1)なぜ税金を使って政治活動をするのか（政党交付金）
(2)なぜ同一私塾で同一勤務で正私員と派遣私員のかく私員に差はおかしい
(3)入院しても病人がよくならないうちに転院を迫られるのはなぜか教えればわかりがたい自民の世の中
おかしい？？？？

柴田町9条の会

先の大戦に於いて何百万という尊い命が失われ街も焼かれ戦費が失なわれてきたのだということを忘れてきたのだろうか。誰も戦争なんて望んでいないのに、自衛隊と日米共同強化の名目で軍拡が急速に進んでいる。F35戦闘機105機（2兆4千億円）の購入契約、護衛艦いずもの空母化、そして先制攻撃ともとれる敵基地攻撃能力の保有など、まさに戦争の出来る体制づくり。崇高な憲法の精神9条の理念は置きざり。本来国際紛争は外交で解決すべきもの。特に日本の1年間の税収算出数額が過去最高のなんと2兆4千億円と言う。戦後70数年、日本が戦争をしないで来れたのは9条のお蔭。私たちはこれからも9条を守り生かし再び戦争の惨禍を招かないよう努力しなければと思っている。

柴田 あすなろ生

佐藤三吉さんの「わたしの戦争体験」

～満蒙開拓青少年義勇軍、15で志願、終戦、そしてシベリア抑留～

1、満蒙開拓青少年義勇軍へ申し込む

終戦の年（1945年）の３月に小学校を卒業し、満蒙開拓青少年義勇軍に申し込みました。形は「志願」でしたが、実際には、先生が何回もやってきて親を説得したのです。大半の親は反対したのですが、私の親は単純でしたので「おお、いいよ」と言いました。岩佐君のお父さんは役場勤務でしたから、割り当ての責任を感じて出されたと聞いております。先生方は、割り当て数を消化するのに、誰でもいいからと頭数だけ揃えばと送り出したのです。

満蒙開拓青少年義勇軍の内原訓練所は茨城県の水戸の近くにありました。ここで訓練してから満州に行くのです。第１次から第８次までありましたが、私は最後の第８次でした。

2、満州の奥地へ、そして過酷な生活

終戦３ヶ月前でしたが、赴任を命じられました。「連京図作戦」という三角を結んだもので、大連、新京、図們（トモン）を結ぶ線です。ソビエトと戦争が始まったら守り切れないので、そこまで撤退するというのです。これは昭和20年３月に大本営で決めています。その２ヶ月後に、その遥か北西部の小興安嶺（しょうこうあんれい）まで送られました。

昭和20年５月13日に茨城の内原を出発、列車に乗って東京へ、３月の大空襲の後で、焼け野原でポツンポツンとコンクリートの家が残っていました。５月17日博多から釜山へ船で渡り、鉄路で嫩江（ノンコー）まで行きました。着いたのは５月28日でした。行くのに10日間かかりました。

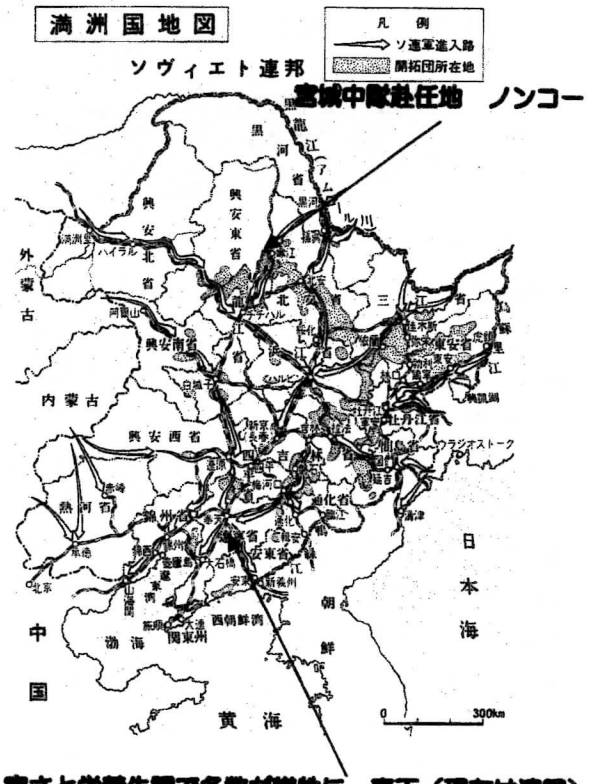
私たちは宮城中隊として180名がまとまって行動、澤井中隊と言います。先生が3～4名、15歳～17歳（17歳が3～4名、あとは15歳、16歳）までの少年で構成されていました。満州というのは、穀倉地帯で食糧不足はないだろうと、たかをくくっていましたが、内地と同様に吸い上げられ、住民には食い物がなかったのです。ごはんとみそ汁杯だけでした。食事を分配する時には，飯を椀に入れ定量を更にあけるのですが、飢えるということがこんなに凄まじいものになるかを経験しました。詰め方が柔いと崩れる、崩れないのを食う、奪い合いでした。

私の戦争体験略年表　佐藤三吉（昭和５年８月21日生）
時代背景：不景気、三反百姓
昭和６年９月18日　満州事変、リットン調査団
昭和７年　満州国建国
昭和８年　国連脱退（42対１）初の武装移民
昭和11年　移民百万戸計画　移民の奨励
昭和12年小学校入学　支那事変勃発　教育に軍事色、軍部の横暴
昭和13年第一次満蒙開拓青少年義勇軍送出（８万４千人）
昭和14年　ノモンハン事件
昭和16年12月８日　太平洋戦争に突入　言論統制、軍事教練、軍歌、出征兵士の見送り　遺骨の出迎え　マインドコントロール
昭和20年３月小学校卒業　満蒙開拓青少年義勇軍に志願
昭和20年３月３日　内原九連所に入所
昭和20年３月10日東京大空襲、大本営「連京図」作戦
昭和20年５月　渡満　23日ノンコー着　宮城澤井中隊に配属、過酷な環境に脱走者続出　リンチ横行　ホームシック
昭和20年８月　関東軍に編入　第一線に配備　小銃と実弾携行、敗戦　逃避行の末ソ連軍の捕虜となりシベリアに連行、11月に解放される　瀋陽市の収容所へ、寒さと栄養失調のため多数の犠牲者　満蒙開拓青少年義勇軍で２万４千２百人死亡、昭和21年７月　帰国、帰国後５回訪中

みんな嫌気がさしてホームシックになり、脱走などを考えるようになりました。「消灯！」で布団にもぐると、すすり泣きや、夜中に歩き回るなど、病気になる人が多かったです。幸い、私はそれほどではありませんでした。脱走は180名の内7～8名はいたと思います。戻ってきた者はぶん殴られましたが。兵士のように営倉入りということはなく、また、同じ部屋で起居しました。リンチも横行していました。いずれも弱い人間が標的にされ、強い者が集団で殴ったり、いじめたりするのです。昌図（ショウト）事件というものがあって、中隊同士の喧嘩、武器を使って死者まで出しました。宿舎は木枠に土を粘り入れて乾かした簡単な干しレンガを重ねただけの粗末な家でした。涙が出ました。一部屋に５人から８人が入っていたと思います。一棟５部屋から８部屋ありましたから、一棟40人くらいはいたのではないでしょうか。ノンコーは満州の北西部の端で、国境に近かった。農産物はあまりとれませんでした。

3、ソ連が参戦　軍隊として戦車用の壕掘りに

そのうちに軍隊に編入され、関東軍の指揮下に入ったのです。指揮官は少尉かなんかと思いますが「見よ、この草原が君たちの墓場と心得よ」と言うのです。



寒さと栄養失調で多数が犠牲に　奉天（現在は瀋陽）

満蒙開拓青少年義勇軍は、穀物生産の為ではなく、軍隊の予備として送られたのだと思います。

８月にソビエトが参戦してきました。私たちの武器は38式歩兵銃という古い小銃です。私は背が低く、小銃は私の背ぐらいありました。実弾５発が10個入りを帯状にしたものを２本、合計100発をたすき掛けに背負わされ、その上に銃を担ぐのです。重くてよろよろするのです。戦車用の壕掘りもさせられました。土を2mくらい掘りげて、その土を上にあげて、壕とするのです。戦車は突撃しても2mの土手の壁にさえぎられて、前に進めないという狙いです。どこから攻めてくるかわからないので、道路だけではなく丘に長い長い壕を掘っていました。終戦でこの作業は終わりました。私たちだけではなく、関東軍や地元の中国人もこの作業に駆り出されました。

4、終戦　そしてシベリア抑留

終戦は全員が食堂に集められて、幹部から伝えられました。幹部はボロボロ涙を流し、こぶしを握り締めていました。私たちもみんな泣きました。

「よかった」とか「助かった」ということはなかったように思います。ただ、「日本に帰れるでは」という思いはありました。それよりも「ソ連軍に殺される」と思い逃げ回りましたが、ノンコーに戻ったところでソ連軍の捕虜となりました。その後、ソビエトの収容所に送られ、しばらくそこにいてから黒河の対岸ブラゴエスチェンスクへ船で送られ、シベリア抑留となりました。ソ連の現地司令官には「これは子供ではないか？間違ってきたのでは？」と言われて帰されました。このような人は100名くらいいたと思います。

5、寒さと栄養失調で多数が犠牲に

鉄路での帰国でした。石炭を積む無蓋貨車に乗ってです。その中で死ぬ人もいました。貨車は満杯で乗るのも大変でした。奉天（満州第一の都市で現在は瀋陽）では大変でした。広場を利用して、避難民を収容、栄養失調になっていたところに寒さが加わり、寝たまま死んでいく、生き残ったのが不思議です。友達の岩佐君も亡くなりました。多くの友達が亡くなりました。毎日死ぬので、2m幅の深い壕を掘って材木のように重ねる。死体はカチンカチンと凍っているのです。土もかけられなく、莚をかけ雪解けをまったのです。人間が極限状態になると涙が出なくなることを体験しました。義勇軍25000人がなくなったと記録に残っています。私たち宮城中隊でも180名にうち45%の人が亡くなり、半数近くが、この奉天で亡くなったのです。

私は15歳の多感な時代に受けた悲惨な光景を生涯忘れることはできません。昭和21年６月に中国を出て、７月に宮城に帰ってきました。引き上げてくるとき、振り返り振り返り、「もう一回来るぞ」と言いながら・・・、その後、中国を５回訪問しました。そして奉天の広場の土をもってきたり、お経を唱えたり、亡くなった人にすまないと思っています。生涯、この思いを背負っていく覚悟です。

※2006年、山元町九条の会での佐藤三吉（みきち）さんの講演原稿から満蒙開拓青少年義勇軍の部分のみを抽出、なるべく原文のまま編集したものです。佐藤さんは1930年生まれ丸森在住の方です。

<編集：白石憲法九条を守る会　丸山勝寿>

舞鶴引上記念館所蔵　満蒙開拓青少年義勇軍

全国首長九条の会までの10年（その5）

千田謙蔵さんと並んで「全国首長九条の会」結成に力のあった方は「福島県市町村長九条の会」の会長元福島県三春町長伊藤寛さんである。結論から先に言うと、2019年4月22日福島市内で第6回「東北六県市町村長九条の会連合」の会議で「全国首長九条の会」結成に向けた交流会を東京都内で開くことを提案し確認されたのである。

伊藤寛さんは一橋大学経済学部を卒業の後、農林中央金庫に就職したが、郷土三春町が衰退していくのをみかねて退職し、三春町の助役に就任した。そして町長に当選した。当時上位計画であった三全総は田園都市構想である。これに基づいて、一千年の樹齢を誇る滝桜を中心とした「さくらの町三春」のまちづくりを行った。

私との縁は東北のダム事業促進の為に東北直轄ダム事業促進連絡協議会（東ダム連）の会長に私が任ぜられた時、実質業務を担当する幹事長に三春ダム建設促進同盟会の会長だった伊藤寛さんが任命されてからのお付き合いである。

伊藤さんの功績の第一は最初から「草の根運動こそ九条を守る原動力である」との理念を強く主張し東北連合のアピール文に必ず明記され、全国首長九条の会の規約第三号議案活動方針にも明記されている。

第二は福島原発問題をめぐって政府と激しく対立し抹殺された元県知事佐藤栄佐久氏を「福島県市町村長九条の会」の顧問に迎えたことである。これによって私達宮城の九条の会が知事、市町村長と言う地方自治体の長のすべて含むという悲願である首長の会が現実のものとなり、東北までは「市町村長九条の会」だったものが、堂々と「全国首長九条の会」を名乗り、共同代表に武村正義氏に入っていただくことができたのである。

そもそも東北六県市町村長九条の会が交流会として発足できたのは、宮城、秋田が、2008 年に結成されたのに次いで福島県市町村長九条の会が 2010 年に結成されたからである。それが 2014 年秋田市における東北六県市町村長九条の会連合結成につながった。これは、私と元横手市長千田謙蔵さんとの斎藤昌馬さんを通じての信頼感と元三春町長伊藤寛さんと東ダム連を通じての住民の安全、安心を守るという理念の共通点が大きな力になったことは紛れもない事実である。

＜全国首長九条の会共同代表　川井貞一＞

各地区で活動しています。興味のある方は連絡を下さい。

「九条の会」とは、日本が戦争を永久に放棄し戦力を保持しないと定めた第９条を含む日本国憲法の改定阻止を目的として 2004 年６月、９人の呼びかけ、井上ひさし（作家）故人、梅原猛（哲学者）故人、大江健三郎（作家）、奥平康弘（憲法学者）故人、小田実（作家）故人、加藤周一（評論家）故人、澤地久枝、鶴見俊輔（哲学者）故人、三木睦子（社会活動家）故人　によって結成された。この呼びかけで、科学、スポーツ、映画、宗教、医療などの各分野、全国の地域で結成された。その団体数は約 7,500（2011 年現在）とされる。

※仙南九条の会連絡会は、2015 年４月４日「平和憲法大講演会 in えずこ」を機に２市７町すべてに九条の会が結成され、その連絡会として発足、七ヶ宿九条の会、蔵王憲法九条の会、丸森９条を守る会、角田憲法九条の会、白石憲法九条を守る会、大河原九条の会、村田９条を守る会、柴田町９条の会、川崎町憲法９条の会、しばた協同クリニック・あおぞら９条の会、みやぎ仙南青年九条の会、仙南生協九条の会（地域、・職場）の９条の会があります。

事務局：丸山（☎080-8203-7447）